

(10/23) 第2回 八戸市教育振興基本計画策定委員会 意見・質問等一覧

※第2回教育振興基本計画策定委員会時に回答済みのものを含む。

意見 番号	意見・質問等内容		対応・回答等内容	
	資料(素案時点)		資料(一次案時点)	
1	基本計画 (素案) P2	○消費者物価指数について、青森市ではなく八戸市のデータはあるか。	基本計画 (一次案) P2	(事務局) ○総務省統計局のデータを参考にしており、県庁所在地毎に集計を行っているため、青森市のデータを掲載している。
2	基本計画 (素案) P5	○外国人住民数について、外国人という表現を変えたほうがよい。 例えば、「外国籍で住民票を持っている人」や「外国にルーツのある方」はどうか。 ○住民登録せず住んでいる外国人が見えてこない数字であるが、教育分野としてどう考えているか。	基本計画 (一次案) P5	○外国にルーツのある方や住民登録していない方の正確な数の把握が困難であるため、外国人住民数→「外国籍を有する住民基本台帳人口」に修正した。 ○年代別に分類することを検討したが、外国籍人口約1300人に対して、15歳未満人口は20～40人という少数であり傾向を捉えにくいことから、国籍別の内訳を掲載することで、国籍が変化・多様化している=社会環境のグローバル化が進展しているという表現に変更した。
3	基本計画 (素案) P5	○外国籍の小学生や中学生の数はとらえることができるか。 ○外国人住民数は大人と子どもすべて対象か。	基本計画 (一次案) P5	(事務局) ○市内小・中学校の外国籍を持つ児童生徒数は把握している。 (参考 2010年：小学校9名、中学校10名 2023年：小学校21名、中学校11名) ○掲載している人数は全世代を対象とした人数である。
4	基本計画 (素案) P6	○携帯スマホの所持率について、中学3年生が71%程度とあるが、もっと多い印象だった。	基本計画 (一次案) P6	(策定委員) ○家庭の方針等による。中学校入学を機に買い与える保護者が多い。
5	基本計画 (素案) P8	○教育理念について、夢は具体性に欠けている。国の基本計画においても、第3期計画の基本方針に夢や志という表現はあったが、第4期には使われていないのではないか。 ○ふれあいという表現について、国では支えあう、あるいはつながりなどより具体的な言葉を使用している印象がある。 ○基本理念の説明文に記載の愛着という表現について、心理学の用語では必ずしも良い意味だけではない。 ○市ホームページの教育理念の英訳に違和感があるため、修正したほうがよい。	基本計画 (一次案) P8	○教育理念は当市の教育の原点と言えるものであることから、教育理念は変更せず、時代の変化への対応は施策や事業の中に盛り込むことで対応したい。 ○地域や郷土への愛着という表現は、現在も使用されている表現であり、マイナスなイメージを抱きにくいと考えられることから、引き続き使用していきたい。 ○市ホームページの英訳は、市長部局担当課へ依頼をする形で修正を検討する。
6	基本計画 (素案) P9	○小施策「次世代を担う人材育成」は非常に大きなタイトルなので、掲載順を1番目にするとういのではないか。	基本計画 (一次案) P9	○御指摘の通り修正し、「次世代を担う人材育成」の掲載順を1番目へ修正した。
7	基本計画 (素案) P12	○校種間連携の充実について、子どもたちのウェルビーイングが重要だと考えている中で、小1プロブレムや中1ギャップという問題があるが、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携はどうか。	基本計画 (一次案) P12	(策定委員) ○登校しぶりが1年生は多いが、ある程度の期間がたつと大体の子どもたちは学校生活ができるようになっていく印象を受ける。幼稚園と小学校が相互に見学に行く機会が多く設けられていて、学校に慣れ親しむことができており幼小の連携はとても大事だと感じている。 (策定委員) ○ジョイントスクールが行われていて、小中学校がそれぞれの授業を見たり体験授業を受けたり、中学1年生が小学6年生に学校を紹介するなどの機会があり、システム的には問題ないと思う。ただし小学生と異なり思春期に入るので難しい部分がある。

(10/23) 第2回 八戸市教育振興基本計画策定委員会 意見・質問等一覧

※第2回教育振興基本計画策定委員会時に回答済みのものを含む。

意見 番号	意見・質問等内容		対応・回答等内容	
	資料(素案時点)		資料(一次案時点)	
8	基本計画 (素案) P17	○支援スタッフの充実について、人の増員とスタッフの質の向上の問題があると思う。年間2名の特別支援アシスタントが来ているが、実際には1年後、他の仕事に就く人も多いという現状がある。 ○80人の募集枠に対して、どれくらい申し込みがあるのか。	基本計画 (一次案) P17	(事務局) ○前期70人、後期10人という形で募集するが、前期は70人以上の応募がある。 ○指導主事が学校訪問してヒアリング、アドバイスをするなど人材育成している。年に2～3回研修会を開催し、ほかの学校のアシスタントと意見交換等をする機会を設けている。 ○子どもたちの質も変化してきており、個別対応が必要なケースが増えている。
9	主要事業一覧 (案) 冒頭説明文	○計画期間が2024年から2028年度とあるが、素案と表記を統一し、令和6年度から令和10年度までに変更してほうがよいのではないか。	主要事業一覧 (一次案) 冒頭説明文	○御指摘の通り修正します。
10	主要事業一覧 (案) P1	【国際理解教育・英語教育推進事業】 ○高等教育機関と連携について、英語圏以外の地域からの留学生を小中学校に呼ぶことができると、多文化に触れる機会ができてよいのではないか。	主要事業一覧 (一次案) P1	○当該事業を進める上で今後の参考とさせていただきます。
11	主要事業一覧 (案) P1	【STEAM教材開発事業】 ○JAMSTEC以外にも、ほかの高等教育機関と連携できるのではないか。	主要事業一覧 (一次案) P1	○当該事業を進める上で今後の参考とさせていただきます。
12	主要事業一覧 (案) P3	【いのちを育む教育アドバイザー事業】 ○例えば八戸学院大学では助産師養成コースを行っており、実際のこどもを取り上げる現場にいる方から話を聞くことができれば、自分の命をいかに大事にするかという部分につながっていくのではないか。	主要事業一覧 (一次案) P2	○当該事業を進める上で今後の参考とさせていただきます。
13	主要事業一覧 (案) P3	【ネット情報モラル支援事業】 ○八戸工業大学や八戸高専に情報系の教員がいるため、連携することができるのではないか。	主要事業一覧 (一次案) P2	○当該事業を進める上で今後の参考とさせていただきます。
14	主要事業一覧 (案) P7	【関連「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」】 ○学校の施設内に導入するに当たり教育委員会に相談し、必要な予算措置等について協議の上導入することができた。 ○導入に当たり躊躇したもの、現状大きな負担にはなっていない。 ○教育委員会から学校に対して、導入に係るアドバイス等を周知することで、こういった施設がもっと増えるとよいのではないか。	主要事業一覧 (一次案) P7	○当該事業を進める上で今後の参考とさせていただきます。

(10/23) 第2回 八戸市教育振興基本計画策定委員会 意見・質問等一覧

※第2回教育振興基本計画策定委員会時に回答済みのものを含む。

意見 番号	意見・質問等内容		対応・回答等内容	
	資料(素案時点)		資料(一次案時点)	
15	主要事業一覧 (案) P8	【防災教育の充実】 ○子どもたちが自ら災害ボランティアとして地域に貢献する内容は含まれているか。 ○実際に災害が発生した際に、ボランティアしたいという熱意だけでは厳しい状況もあることから、ボランティアの素養教育が必要だと考えている。	主要事業一覧 (一次案) P9	(事務局) ○中学校では含まれている。地域密着型教育では地域と連携して避難所設置訓練や防災訓練している。 (策定委員) ○東日本大震災以降、小中野中は自主防災団体と連携し、地域密着型コーディネーターが間に入りながら、防災訓練を実施している。 ○ボランティア募集する際は事前に案内があると、学校からも子どもたちに注意喚起して送り出してあげられるが、そういった部分でも連携できるとよい。
16	主要事業一覧 (案) P9	【学校図書館支援事業】 ○支援スタッフについて、例えば学校司書は、災害時に児童生徒の安全に対する責任が持てないことになっていると伺ったが契約上の問題か。 ○学校の先生以外の方が児童生徒をサポートする時間を増やそうとした時に、緊急時の対応も含めてお願いできるようになっていないと難しいと思う。	主要事業一覧 (一次案) P10	(事務局) ○学校司書は会計年度任用職員であり、職務の内容や勤務時間も契約上決められている。非常時の対応は職務の範囲外になるので、積極的に関わることは難しい。 (策定委員) ○学校司書には、本に関する通常業務だけでも大変助けられており、生徒の安全確保までの責任を負わせることはできない。
17	主要事業一覧 (案) P10	【(仮称) 児童生徒意見聴取事業、文化芸術推進事業】 ○新たな事業が増えるときに学校が窓口になると、学校の負担が増えることが想定される。 ○地域密着型コーディネーターを窓口にするなどが考えられる。 ○学校の負担にならないよう事業設計してほしい。	主要事業一覧 (一次案) P11	○「(仮称) 児童生徒意見聴取事業」を削除し、市長部局が実施する関連事業として、「(仮称) こどもモニター制度」を掲載した。 ○事業実施に当たっては、学校の負担が増えないよう留意したい。
18	主要事業一覧 (案) P10	【(仮称) 児童生徒意見聴取事業】 ○仮称ではあるが、聴取という言い方は何か悪いことを聞くようなイメージがあるため、もう少し柔らかな表現にすると良い。	主要事業一覧 (一次案) P11	○「(仮称) 児童生徒意見聴取事業」を削除し、市長部局が実施する関連事業として、「(仮称) こどもモニター制度」を掲載した。
19	主要事業一覧 (案) P12	【児童科学館各種体験活動】 ○指定管理になる前と比較すると、学校に向けての講習会ができていないという印象を受ける。 ○事務系の職員が多いとは思いますが、専門的な知識を持った方などを入れて職員の人材育成をしてほしい。	主要事業一覧 (一次案) P12	(事務局) ○年5回協議会を行うほか、定期的に担当者同士で、総合教育センターと児童科学館で情報交換をしながら進めている。御指摘があった部分について、今後検討していきたい。
20	主要事業一覧 (案) P14～15	【大施策名】 ○基本計画(素案)と主要事業一覧(案)との間で、施策名の表記にズレがあるため修正したほうがよい。(5 文化財等の保護の充実 となっており、活用が抜けている)	主要事業一覧 (一次案) P14	○御指摘の通り修正します。 (5 文化財等の保護・活用の充実)
21	主要事業一覧 (案) P14	【文化財の収集・保存・調査】 ○博物館の事業として、物を収集し、資料を整理し、保存して公開するというのが原則としてあると思うので、公開あるいは活用という言葉を入れたほうが良いと思う。	主要事業一覧 (一次案) P14	○御指摘の通り修正し、「文化財の収集・保存・調査・活用」とする

(10/23) 第2回 八戸市教育振興基本計画策定委員会 意見・質問等一覧

※第2回教育振興基本計画策定委員会時に回答済みのものを含む。

意見 番号	意見・質問等内容		対応・回答等内容	
	資料(素案時点)		資料(一次案時点)	
22	主要事業一覧 (案) P15	【歴史資料の収集・整理・保存・活用】 ○「八戸市の歴史に関する資料収集し、また市史編さん事業に収集した資料の目録を作成して、その成果の普及に努める」とあるが、市史編さん事業で収集した資料の目録は完成しているので、例えば「また市史編さん事業で収集した資料の普及に努める、あるいは公開に努める」というように修正してはどうか。	主要事業一覧 (一次案) P16	○下記の通り修正する。 「八戸市の歴史に関する資料を収集保存し、目録を作成する。また、作成した目録のデジタル公開を行い、資料の活用を推進する。」
23		○掲載されている事業ではないが、プログラミング教育も高等教育機関と連携できるのではないか。 ○産学官包括連携協定を結んでいることから、市が主体となって小中学校と高等教育機関をつなげることができるのではないか。		○今後の参考とさせていただきます。
24		○市内に私立中学校2校あるが、もしも支援が必要な時には、こういう支援ができますというようなアプローチができればよいのではないかと思うが、どのようか。 ○市で行っている教員研修に私立中学校の教員が参加する場合もあるのか。		(策定委員) ○私立中学校の校長先生は、市の中学校長会の定例会に必ず来ており、資料も配布している。中教研に関してはお知らせしているので、参加する教員もいる。 (事務局) ○私立中学校に対して、制度上の問題もあり市教育委員会が研修を実施することはできない。
25		○部活動の地域移行について、スポーツ文化活動が教員の業務から地域に移行してきて、各学校や地域によって温度差があるのか。格差を改善する良い方法はあるか。		(事務局) ○学校や地域によっては、指導者の確保が課題になっている。 ○小学校では、愛好会という形で保護者が主体となって運営しており、何とか確保できているという現状がある。 ○中学校では、検討協議会にて協議中だが、競技の専門性の問題や運営主体がどこになるかといった問題があり、現段階では結論は出ていない。